

互尊文庫は新たな図書館へ

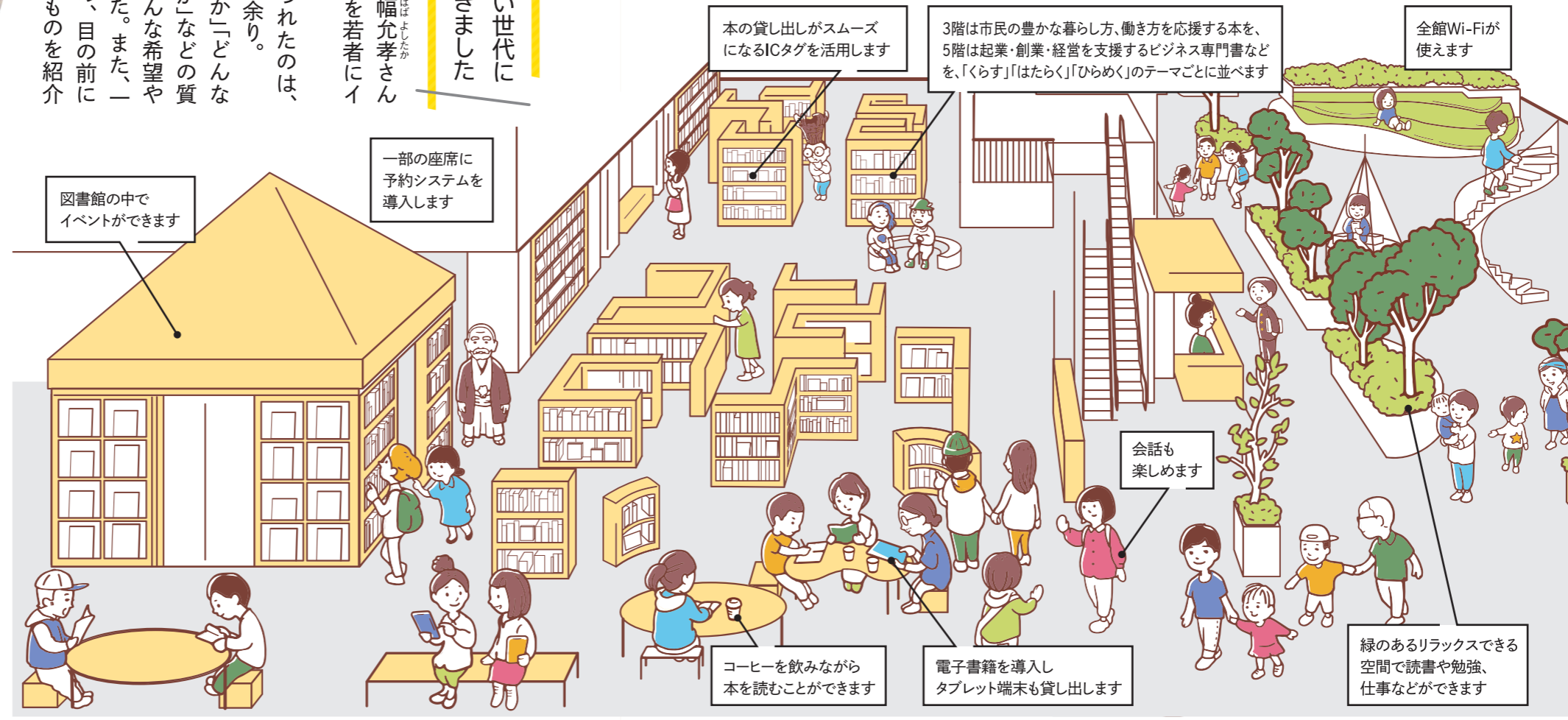
令和5年夏
OPEN

本に触れる喜びと新しい発見、
居心地の良さを追求した
「新しいスタイルの図書館」が
「ミライエ長岡」に誕生します

長岡のミライエを担う若い世代に
本や図書館への声を聴きました

昨年12月、選書を担当する幅允孝さん
が本や図書館に対する想いを若者にイ
ンタビューしました。

テーブルに所狭しと並べられたのは、
幅広いジャンルの本150冊余り。
幅さんは「どこで本を探るか」「どんな
図書館だったら行きたいか」などの質
問を投げ掛け、各世代にどんな希望や
ニーズがあるかを探りました。また、一
人ひとりの意見を受け止め、目の前に
並べた本から、今勧めたいものを紹介
していききました。



ブックディレクター・幅さんが若者にインタビュー



世代別VOICE

“ミライエの図書館”に期待すること

- 中学生**
 - ・リラックスしたり友人と過ごせたりする空間に
 - ・別ジャンルの本が同じテーマの本棚に置いてあると普段読まない本でも手に取りやすい
- 高校生**
 - ・自分で購入しないようなジャンルの本を置いてほしい
 - ・タイトルや表紙にインパクトがある本がいい
- 大学生**
 - ・図書館は格式が高いイメージがあるので、図書館という呼び方を変えたい
 - ・一人で集中するための場所があるといい
- ビジネスパーソン**
 - ・仕事に活かせる本があるといい
 - ・日常の延長線上にあるような、もっと気軽に訪れることのできる場所になるといい

本棚づくりで大切にすること

直感的に伝わりやすい
テーマ別の本棚で
わくわくする

心に刺さる
見出しで思わず
手に取りたくなる

思いもよらない
本との出会いは
創造的活動や
イノベーションに
つながる

居心地の良い空間で
幅広い世代の誰もが
いつ来ても本を楽しむ
ことができる

ミライエ独自の
本棚を巡ることで
新たな発見に出会える

従来の図書館とは違う 本棚のエリアテーマ

ひらめく
思いもよらない角度から刺激が得られ
新たな成長とイノベーションのための気付きや問いが得られる

くらす
毎日の暮らしを豊かにするヒントや、
ちょっとした幸せを感じる
生活の知恵が散りばめられ、
長岡での暮らしが魅力的になる

はたらく
マーケット情報や
起業、資格取得など
仕事に役立つ情報で
仕事がさらに楽しくなる

大手通坂之上町地区市街地再開発事業で市が整備する「米百俵プレイスミライエ長岡」に互尊文庫を移転し、「新しいスタイルの図書館」としてオープンします。

互尊文庫の精神や「修養の場」としての役割を受け継ぎ、起業・創業・経営支援などの産業振興をはじめ、市民のみなさんの豊かな暮らし方、働き方を応援する図書館を実現します。



幅 允孝さん

いろんな世代の人や、普段本から遠ざかっている人も気軽にフラッと立ち寄れる場所、気付きに出会える場所、読者の心に刺さって抜けなくなる一冊を見つける場所にしたいですね。

有限会社BACH*代表。公共図書館や学校、病院、オフィスなどで人と本の距離を縮めるための空間づくりをしている。「早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)」では本の分類・選書・配架などを担当。
*㈱図書館流通センターと、この図書館の開設準備業務を担っています

「ミライエ長岡」専用ウェブサイトを公開
<https://miraie-nagaoka.jp>

図書館中心市街地整備室 ☎39・2807